

ほっこりだより

第77号 2016年6月5日 発行

東向日キリスト教会

京都府向日市森本町下森本6-5

Tel: 075 (931) 5934

http://www.h-mukou-ch.jp/

人生は出会いで決まる

誰と出会うか・・・それは人生を大きく変えます。学校の教師、先輩、就職先での上司また、結婚相手も。また、ふと目にした一冊の本や耳にした音楽も人生を変えるきっかけになります。これまで、そのような出会いを経験された方がおられると思います。

昨年は戦後七十年の節目を迎えました。悲惨な戦争を思い起こし、平和の有難さを再び確かめる時です。戦後、一つの出会いを通して人生を大きく変えた一人の人を紹介します。

①予科練生で終戦を迎える。

今年八十八歳の関根辰雄氏は三重県の香良洲飛行場に十五歳の時、入隊します。日夜厳しい軍事訓練を受け、出撃の時を待ちました。



しかし、その直前の一九四五年に終戦を迎え、危うく命が助かります。軍人として命を捨てる覚悟でいた青年達は、全く目標を失い、自暴自棄となり、荒れすさんだ生活を送ります。ある者は暴力団に入る者もいました。関根青年は生活のため、トラックの運転手となります。ある時、体をこわし入院療養をします。その時、キリスト教の講演に誘うスピーカーの案内を耳にします。彼は、退屈のぎに病院を抜け出して聞きに行きました。これがキリスト教との出会いとなったのです。

②キリストとの出会いが人生を変える。

初めて教会に行き、これまで何の生きる目標を持たなかった関根青年は、ここに新しく生きる意義を見出したのです。

「誰でもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ。すべてが新しくなりました。」

聖書

それから仕事の合間を見つけて教会に通うようになりました。間もなく、この神にいただいた命をイエス・キリストを人々に伝えるために牧師になる道を選びました。

その後、福島県須賀川市にある神学校で学び、二十八歳からキリスト教の牧師として新しい出発をしました。

現在も現役の牧師として、日光市にある今市バイブルチャーチで元気で働かれています。今年三月に教会を訪ね、予科練生の時代から今日に至る大きな人生の転換にキリストとの出会いがあったことを聞きました。

③これまでも多くの人が変えられました。

聖書には、キリストと出会った人々の記録があります。漁師をしていた人、医者、皆から嫌われていた税金取り、病人や障害者また、娼婦もいました。

更に驚くことは、キリストを信じる者を捕え、迫害していたパウロという者は、キリストと出会って、今度はキリストを伝える者に百八十度変えられました。

古い過去ばかりではなく、京都の同志社大学の創立者、新島襄も、また、NHK朝ドラ「あさが来た」のモデル広岡浅子も聖書との出会いがありました。

また、私達の周囲にこれまでも、これからも聖書やキリストとの出会いを通して人生を変えられる人々が起こされます。

あなたは、生ける神の御子、キリストです。「聖書

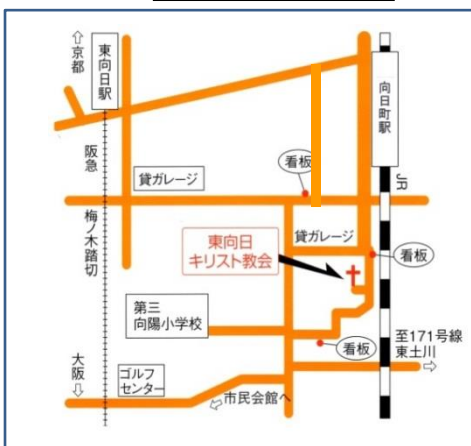
一度、教会をお訪ねください。聖書やキリストと出会うならあなたの人生は新しく変えられます。

関根辰雄牧師夫妻と右側の筆者)

関根辰雄牧師夫妻と右側の筆者)



教会案内図です



視力を失う恐れからの救い

今年の一月、突然右目に違和感を覚え、ほどなく
 ほぼ失明と同じ状態になり、日常生活が急速に困難
 になりました。

最初は自分の目に何が起きているのか分から
 ず、恐怖を覚えました。朝、目を覚ましても怖くて
 目を明けられず、「神様。どうか左目は正常に見え
 ていますように。目を明けても、真っ暗という事が
 ありませんように。」と祈ってからでないと目を開
 けられませんでした。

病院での治療が始まりましたが、医療費が高額
 で、しかも“高額療養費制度”の基準にギリギリ届
 かず、全額を自己負担しなければならぬことにな
 り、非常に慌ててしまいました。

病院、市役所、生命保険会社など
 思いつく限りの機関に相談しまし
 が、どこも既定の制度の適用外だ
 と言われてしまいました。



自分でできる限りのことを全てやり尽くし、「こ
 の目はもう正常に見えることはない。薬は効果のあ
 る人と、全く効かない人に分かれる。高額な医療費
 を、一生の間、毎月自己負担する経済力は自分には
 ない。」という状態になった時、不思議に肩の荷が
 降り、喜びが湧きあがってきました。

それは、スポーツの試合で自分は下がり、神様と
 言う大エースと交代するという感覚でした。“神様
 は、これから私の人生でどのような大活躍を見せて
 下さるのだろう・・・”というワクワク感で一杯
 になりました。

すると間もなく、神様は経済的な必要を満た
 して下さったのです！。昨年、実家の土地の一部を
 売った代金が、丁度、治療開始の時期に入ってくる
 ことになり、当座の心配がなくなりました。“神様
 は去年から、私の医療費を用意して下さいた
 のだ。”とただただ感謝しました。

また、目の治療も効果があり、右
 目の視力が回復しました。元のよ
 うには見えませんが、晴れの日は
 ちゃんと明るく、青空が青く見える。という当
 り前のことが本当に嬉しくて、幸せいっぱいにな
 りました。教会の方々にも終始優しく親身に祈り
 支えていただき、家族や友人にも恵まれ、なんと
 ありがたい人生かと心から感謝しています。



主の使いは主を怖れる者の回りに陣を張り、
 彼らを助け出される。主の素晴らしさを味
 わいこれを見つめよ。
 幸いなことよ。彼に身を避ける者は。「聖書
 」（ヤコブ）

ユネスコ世界遺産に登録の

舞鶴引揚記念館資料

戦後七十年がたち、引揚の歴史
 が次第に風化しようとしています。
 歴史を未来に生かしてこそ、その
 価値が見出されます。この資料を
 通して、平和の尊さを再認識する
 のではないでしょうか。

昨年十月に登録され、平和の大
 切さを世界へ発信するスタート
 となるよう、願っています。



俳句

仔つなぎの眠りにおちる春の隅
 抱き癖のとれて寂しき若葉冷え

短歌

病気もつ子を抱っこしてただ歩く
 今日涙を流しおえるまで
 自転車に子をのせ走っていた頃は
 花水木の風切つて感じて
 古都葉

今後のイベントを紹介します。

◎六月の特別イベント

十二日（日）オオボエ、フルート、ピ
 アノによる賛美礼拝

◎九月の特別イベント

十五日（木）敬老の集い。食事会
 十八日（日）高齢者の祝福式

どなたでもお気軽にお出かけください。